別紙1

～千葉市経済成長アクションプランの全体像～

産業分野の視点

中核産業の立地状況

現状認識

- 臨海部では、鉄鋼・電力等の素材型工業集積や食品工業団地、内陸部では、工業団地を中心として一般機械・金属加工型工業が集積。
- 製造業の労働生産性は他の産業よりも高いため、地域経済の成長にとって重要な産業。
- 製造業以外では、亥鼻イノベーションプラザ入居企業を中心としたヘルスケア関連産業などがあるが、産業集積としては十分とは言い難い。

取るべき対応（課題）

- ■ 中核となる企業とその周辺・関連企業のまとまり（=産業集積)が存在する地域ほど生産性も高まる傾向があることから、製造業やヘルスケア関連産業などの中核企業を育成・誘致し、その周辺・関連産業のまとまりを生み出す必要がある。
- ■ 本社機能・生産機能の集約化の受け皿として、規制緩和の推進等により新たな企業立地を促進する必要がある。
- ■ 既存製造業企業による事業高度化を目的とした追加投資を促進する必要がある。

サービス産業／中小事業者の状況

現状認識

- サービス産業は、千葉市内従業者の約８５%が従事する主力産業。
- サービス業には、情報通信産業など「域外から稼ぐ」ことができる業種と、小売業、医療・福祉など「地域の生活を直接支える」業種がある。
- 千葉市のような大規模経済圏では、小規模経済圏と比較した場合に、情報通信産業の生産性が高い傾向にあるが、他業種ではそれほど高くない。

取るべき対応（課題）

- ■ 情報通信業など「域外から稼ぐ」ことができるサービス産業については、他の大規模経済圏の需要獲得へ向けた競争力強化が必要である。
- ■ サービス産業の生産性は、経済圏の規模が小さくなるほど低く、千葉市のような大規模経済圏では、県東南地域も含めた、小売業、医療・福祉など「地域の生活を直接支える」サービス産業の生産性向上に取り組む必要性が高まっている。

観光・ＭＩＣＥの動向

現状認識

- 我が国の訪日客数は増加基調。2020年の東京五輪の開催決定により、観光需要は更なる高まりが予測される。
- 千葉市の観光資源は、海辺のコンテンツは比較的充実しているが、内陸部のコンテンツが不十分。
- 幕張新都心の活動人口は増加しているが、大規模商業施設開業が主要因。
- 幕張メッセ来場者数は近年増加しているが、ピーク時とは開き。ＭＩＣＥは経済波及効果が大きく、都市ブランド向上の観点からも世界的にも注目。

取るべき対応（課題）

- ■ 観光資源の磨き上げとともに、集客プロモーションの強化や、インバウンドの推進により世界の観光需要を取り込む必要がある。
- ■ 幕張新都心の経済波及効果を最大化するため、市内宿泊者数の増加や幕張メッセの稼働率向上を図りつつ、積極的なＭＩＣＥ誘致の必要がある。
- ■ 国際的な会議やイベントの誘致に向けて、幕張新都心の海辺や公園などの自然環境を含めた、千葉市の開催ポテンシャルをＰＲする必要がある。

広域経済圏の視点

現状認識

- 千葉市では、今後生産年齢人口が減少し、高齢者人口が増加していくことから、市場規模縮小と労働力不足が顕在化すると予想される。
- 人口の重心が徐々に東葛・葛南エリアに移りつつある中で、県東南部での人口減少が著しいため、雇用や高次都市機能が集積する千葉市の役割が高まりつつある。

取るべき対応（課題）

- ■ 周辺地域との機能補完により地域の生活を支えるサービスを提供するなど、広域経済圏での市場形成を図る必要がある。
- ■ 広域経済圏の核都市として県東南部に雇用を創出する共に、大都市特有の人材の多様性を活かし、チャレンジ精神に富む産業人材を育成・輩出する必要がある。
- ■ 生産年齢人口の減少に少しでも歯止めをかけるため、企業立地促進により、新たな雇用の場を生み出す必要がある。

政策の方向性

1. 競争力のある産業集積の形成による地域経済の成長

- ■ 競争力のある中核企業の集積促進
- ■ 地域経済の成長が図られる環境の構築

2. 市民生活を支える持続性の高い地域経済の構築

- ■ 持続的に発展する地域づくりや地域経済の活性化
- ■ 市民生活を支える地域密着型サービス産業の振興

3. MICE誘致・観光プロモーション強化によるグローバルな観光需要の取り込み

- ■ 経済波及効果の大きいMICE誘致の促進
- ■ 「おもてなしダイバーシティ」を念頭においたインバウンド集客
- ■ 各資源の観光魅力の発掘とアクションプラン化、ターゲットごとのＰＲ戦略の実施

4. チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出

- ■ 将来の地域経済を牽引するスタートアップ企業の輩出
- ■ 学生・女性・シニア等の安定的な就労環境の確保
- ■ 将来の地域経済の担い手となる産業人材の育成

ＳＷＯＴ分析

千葉市の代表的な強み／弱み・機会／脅威の分析から施策を導出

施策

- ①ヘルスケア関連産業クラスターの形成
- ⑥臨海地域の産業競争力強化
- ⑦企業立地活動の推進による産業の集積と高度化
- ⑩地域中小企業・小規模事業者の持続的な発展の支援
- ⑨魅力的な食品・農産品の高付加価値化
- ⑧市民生活を支えるサービス産業の振興
- ②地域経済効果を最大化するMICE誘致・開催、国際的イベントの誘致
- ④観光資源のポテンシャルを活かした集客力の強化
- ③スタートアップ企業の輩出による産業の担い手育成
- ④市内企業への安定的な就職の支援と産業人材の育成

・主な取組み（第2次実施計画掲載事業）・事業展開の方向性